

そうじの力だより

VOL.244



支援レポート

保守品質の土台は環境整備

「いつまでやらなきゃいけないんですか？」

ITサーバーの第三者保守の分野で業界トップシェアのデータライブ(株)。同社の環境整備(整理・整頓・清掃)を七年前から弊社が支援しています。

先日、同社にホスト企業になつていただき、「第十一回そうじの力全国大会」を開催し、一八社三七名の方にご参加いただきました。今回は、同社の取り組みをご紹介します。

ITサーバーは、購入後五年でメーカー保守が切れます。その後の保守を請け負うのが、第三者保守事業者です。この業界は今どんどん成長していて、同社も急拡大しています。

七年前に支援を始めた当初は、本社と技術開発部門を中心に取り組みを進めました。ところが、メンバーには環境整備の意義がなかなかピンと来ないようでした。

「なぜそんなことをするのか、分かるように説明してください」「そこまでやらなきゃいけないんですか？」というメンバーからの問いに、私も山田和人社長も悩まされます。

説明ができないわけではありませんが、環境整備というものは、実際にやってみてはじめて分かる、という要素が強いのです。

試行錯誤の末に、大きく方針転換し、四年前から、埼玉県久喜市にあるIT機器の備蓄倉庫に絞って環境整備に取り組んだところ、これが見事に当たったようです。



東京ドームのグラウンドの広さの備蓄倉庫

整理・整頓・清掃を徹底することで、現場の安全性、生産性、快適性が向上することが実感できたようです。

備蓄倉庫のメンバーは、すぐに環境整備に積極的に取り組んでくれるようになりました。彼ら自身で、さまざまな課題に気づき、その改善のためのアイデアを、どんどん出して、実行に移してくれています。

同社では、毎朝一五十分間の清掃を行っています。

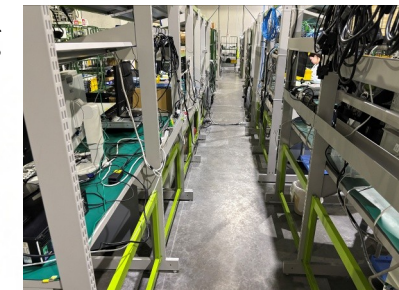
加えて、月初に委員会委員会のミーティングを行い、

先月までの取り組みの総括



ケーブル類をファイルケースを使って整頓

を行って新たな課題を確認をします。そして、月の半ばに、イベントとしてその課題の改善作業を行います。



以前はからまっていた配線も現在はスッキリ

実は、この改善イベントには、備蓄倉庫の社員だけでなく、毎回、本社と技術開発部門から数人が参加して、一緒に汗を流しています。こうすることで、環境整備の意義を全社員に実感してもらおうと試みているのです。

この過程で、備蓄倉庫の社員たちの段取り力が大きく向上しています。



整然とした掃除道具置場

多部署から多くの人が参加するイベントを有意義なものにするためには、事前の準備が大切です。必要な道具を用意し、時間割や役割分担も決めて

おかなければなりません。

また、

ラインテープ

ひとつ貼るにしても、なか

なか直ぐには貼れないもの

です。定規を当てたり、

ガイドとなる紐を張ったりと、様々な工夫をしています。



ラインテープを使って資材や道具を定位置化

彼らはまた、改善のための便利なグッズを見つけるのも上手です。段差のスロープの傾きが急すぎた時に、緩やかなスロープを見つけた。ドラム缶を傾けるのに、以前は梱包資材を折りたたんでかましていたのですが、実は「ドラム缶傾け器」なるものがあることを発見し、取り入れています。

環境整備委員会の委員長Nさんは、「環境整備のおかげで、気づく力や主体性、問題解決力、協調性が上がってきている」と話してくれました。

山田社長は、「ITサーバー保守の品質を支えているのは、環境整備。我々はメーカー保守と変わらぬ品質をご提供できる。環境整備のおかげで、社員の表情が、自信に満ちたものに変わってきている」と、その手応えを語ってくれています。(小早)



スタッフ大槻飛鳥の 飛鳥はミタ！

第十一回そうじの力全国大会レポート

第十一回そうじの力全国大会。ホスト企業であるデータライブ(株)のIT機器倉庫「KSC GRANDOCK」の見学に加え、全国から参加してくれた支援先企業による取り組み発表が行われました。

発表企業は一〇社、活動開始一〇か月の企業から、一〇年越えの企業まで様々です。

今回、成果・課題と形は違えど、「自ら働きかけ、他者を巻き込む力」に言及されている会社が多くありました。



皆さん熱心にメモを取っています

「時間確保が難しいレジ担当の方が、どうすればそうじに取り組みやすいか」という共通課題がありました。それを解決するために、人材育成を担当する部署に相談したところ、シフト調整をし、出勤後にそうじに取り組める時間を確保することができました。

バス会社を筆頭に、六つのグループ会社全体でそうじに取り組む石見交通(株)。グループ全体で取り組むことで、イベントの手伝いの依頼など、会社間でのやりとりが円滑にできています。

眼鏡フレームなどに特殊な印刷を行う(有)ファイブ。地域清掃を行う際、自社だけでなく、地域にも働きかけ、一緒に

取り組んでいます。仕事の時間は一人で集中して行う同社にとって、そうじの時間はスタッフ同士の交流時間。雑談の中で進捗を聞いたり、気軽にヘルプが出せる関係性が築かれています。



1社10分のプレゼンテーション

石材加工と霊園運営を手掛ける(株)安東石材店。みんなと一緒にそうじに取り組んでいくことで、メンバーが「快適さ」や「仕事の効率化」を身をもって感じてきました。自然と協力体制や責任感、「改善の履歴を見る化しよう」という提案が生まれ、会社の文化や雰囲気も変化しています。

アンケートにも「他者を巻き込んで行う大切さがわかったが、難しい」という回答が寄せられました。

そうじには「身の回りを整える」「トイレ掃除をする」など、一人でも完結できてしまうことが結構あります。ですが、「他者を巻き込む」ことで、手をつけられなかった箇所の整理ができたり、問題の根本原因にアプローチすることができるようになります。

「他者を巻き込む」には、時間・コストがかかります。社長がそうじに価値を見出し、時間と改善にかかる費用を惜しまない——そういった会社や、人や組織の大きな成長を遂げていると、確かに感じた発表会でした。(大槻)

編集後記

なぜ右手前？

定食屋で定食を食べるときに、いつも不思議に思うことがあります。

たいていの店で、お盆の右手間に味噌汁が載っかって出てくるのです。

しかし、これでは、おかずを食べる際に味噌汁が邪魔になるので、私はいつも場所を入れ替えてから食べるようにしています。

理想的な配置は、右手前にメインのおかず、左奥に味噌汁、そして左手前にごはん、です。なぜこうしないのでしょうかね？



(小早)

飛鳥のつぶやき

限界母ちゃん

市のふるさとまつりに「友達2人と行く！」と、前日にざっくりとした約束をしてきた小2の長男。

待ち合わせ時間も場所も未定のため、大慌てで両家と連絡を取り、引率することに。

ところが当日、宿題が終わらずへそを曲げ行かない長男(^q^)。約束した手前友達だけを引率するも、開始早々財布を無くす(男子1)、トイレをギリギリで申告する(男子2)など、すったもんだの大騒ぎ。

会場内を全力走。体力を…つけねば…パッ (大槻)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は「そうじ＝整理・整頓・清掃」を通じた企業風土改革を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)